

すべての人にやさしい地域密着型の病院づくり

多久市と小城市では、医療サービスの向上と、質の高い医療の提供を続けていくため、

多久市立病院と小城市民病院を統合し、新たな公立病院を創設します。

現在、令和7年度の開院へ向けて準備を進めています。

地域みなさんに愛される病院となるよう、新病院建設のコンセプトに掲げる

“人・運営・地域に寄り添う安心と安全のランドマークとなる地域密着型の病院づくり”を目指します。

特集
1



※完成予想図

建築基本設計が完成しました

建設基本計画に基づき、現在の両病院との協議による専門的意見を踏まえた上で新病院本体の建築基本設計を取りまとめました。

基本設計では効率的なレイアウトや、診察や検査などの部門をまとめることで、外来者にもわかりやすい動線としています。

新しい病院の特徴としては、

◆感染症等にも対応できる施設

感染時に外部から直接出入り可能な感染予防エリアを臨時応急的に設置できることで、一般の人との動線の分離が可能です。

◆高い個室率と患者・利用者にやさしい病院づくり

病棟を小分けにした「ユニット・ホール型」病棟により患者の安心を確保し、見守りやすい環境づくりに努めます。

また、個室を多く配置し、2床室・4床室はプライバシーを重視した病室を整備します。

◆災害に強い病院づくり

患者、病院利用者の安心・安全のため、免震構造による「災害に強い病院」を実現し、災害後も医療継続が可能となります。

新公立病院建設事業

今年度は、建築実施設計、建設用地造成工事などの開院に向けた整備を進めています。全体のスケジュールについては表のとおりです。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設計	建築基本設計	実施設計			
	造成実施設計				
建設工事		造成工事			
			建築工事		*

開院

